

工 事 番 号							
設 計 年 度	令和3年度		耐震性貯水槽新設工事（幸崎能地五丁目） 三原市 幸崎能地五丁目 仕 様 書				
施 工 月 日	令和 年 月 日						
施 工 方 法	請 負						
工 事 期 間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 耐震性貯水槽新設 耐震性貯水槽 (40m3) N=1基 標識設置 N=1基							

特 記 仕 様 書

第 1 章 総則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、耐震性貯水槽新設工事（幸崎能地五丁目）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和 3 年 8 月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・耐震性貯水槽の設計手引き及び管理マニュアル（（一財）日本消防設備安全センター）
 - ・道路標識設置基準
 - ・道路標識設置基準・同解説（（社）日本道路協会）
 - ・その他関連規格類

第 2 節 水張り検査

水張り検査を行うこと。

なお、異常を確認した場合は、受注者は原因を確認し、調査計画書を監督員に提出し補修すること。

第 3 節 検査

土木工事共通仕様書（令和 3 年 8 月広島版）『第 3 編 1-1-10 検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第 4 節 情報共有システム（設計金額 500 万円以上が対象）

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品 1 部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 2 章 材料

第 1 節 耐震性貯水槽

設置する貯水槽は、(一財) 日本消防設備安全センターが認定する製品を使用すること。

本工事において、事前に使用する耐震性貯水槽の構造計算書を監督員に提出し承諾を得ること。

本工事完了後、設置した耐震性貯水槽に対する認定証 ((一財) 日本消防設備安全センター) の原本を速やかに監督員に提出すること。

第 3 章 施工条件

第 1 節 工 程

地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目 地下埋設物

調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。(支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。)

第 2 節 用 地

1 現場の復旧 原形復旧とする。

2 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第 3 節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査時期 施工前・施工中・施工後 (1 ヶ月以内)

調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況

範 囲 別途協議による。

第4節 安全対策

1 安全対策

内 容	工事区域，特に掘削時の開口部に第三者が立ち入ることがないように，十分に安全措置を講ずること。
-----	--

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路	特に指定なし。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時30分～17時
工事中・後の処置	随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
-----	-------

期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第 4 章 設計金額

第 1 節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和 3 年 8 月広島版）『第 1 編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては，排出ガス対策型（第 2 次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお，使用する排出ガス対策型建設機械について，基準値による設計変更は行わない。

第 5 章 工事保険等

第 1 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において，受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は，建設工事請負契約約款第 54 条に基づき，法定外の労災保険の契約締結したときは，その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は，政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり，（公財）建設業福祉共済団，（一社）建設業労災互助会，全日本火災共済協同組合連合会，（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で，労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 6 章 工事損失等

本工事の施工に伴い，通常避けることのできない地盤沈下，振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては，次のとおりとする。

なお，工事損失に伴う補償費用は，設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| （１）原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| （２）補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| （３）応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は，直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （４）補償費用負担割合 | 発注者は，工事損失に伴う補償費用のうち，請負代金額の 1 0 0 分の 1 を超える額を負担する。 |

第7章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項，または，その内容に疑義が生じた場合は，監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
耐震性貯水槽		式		1	レベル1
耐震性貯水槽土工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
表土掘削		m3		40	レベル4
沈下掘削		m3		40	レベル4
埋戻し		m3		30	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
耐震性貯水槽据付工		式		1	レベル2
本体据付工		式		1	レベル3
底版工		式		1	レベル4
側版工		式		1	レベル4
頂版工		式		1	レベル4
人孔・ピット工		式		1	レベル4
現地塗装工		式		1	レベル3
内面塗装工		式		1	レベル4
外面塗装工		式		1	レベル4
工場製作工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
耐震性貯水槽製作工		式		1	レベル3
耐震性貯水槽製作加工		式		1	レベル4
標識工		式		1	レベル2
小型標識工		式		1	レベル3
標識柱		基		1	レベル4
標識板		基		1	レベル4
＊＊直接工事費（鋼橋製作工）＊＊					
間接労務費（鋼橋製作工）					
工場管理費（鋼橋製作工）					
＊＊間接工事費（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊工場製作原価（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊直接工事費(工場製作を除く)＊＊					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
貯水槽運搬費		式		1	レベル4
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
技術管理費		式		1	レベル3
簡易支持力測定		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
架設工事原価					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					



平面図 S=1:500

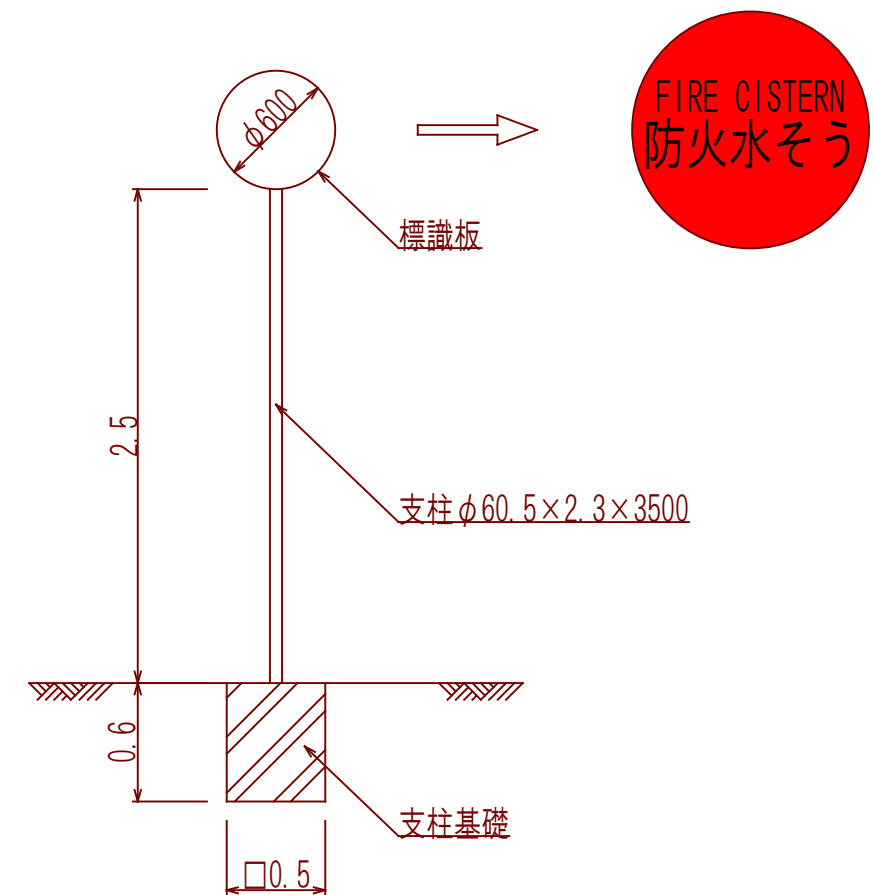
小型標識工

耐震性貯水槽40m3Ⅱ型



構造図 S=1:20

小型標識工



耐震性貯水槽仕様

〔貯水槽形式〕 耐震性貯水槽 40m3 (一財)日本消防設備センター認定品

〔吸管投入口形式〕 φ600

〔標識板形式〕 φ600 アルミ板

〔標識柱形式〕 φ60.5×2.3×3500

〔土被り〕 1m以下

図面番号	1 / 1	縮 尺	図 示	
工 種				
種 別	平面図・構造図		番 号	
工 事 名	耐震性貯水槽新設工事（幸崎能地五丁目）			
工事箇所	三原市幸崎能地五丁目			
三 原 市				

この図面は、実際の図面を約50%に縮尺している。

参 考 資 料

—耐震性貯水槽新設工事（幸崎能地五丁目）—

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03.08.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震性貯水槽					Y1E01 レベル1
	1	式			
耐震性貯水槽土工					Y1E0101 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010101 レベル3
	1	式			
表土掘削					Y1E01010101レベル4
	40	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK21040001 00
	40	m3			単第0 -0001 表
沈下掘削					Y1E01010101レベル4
	40	m3			
掘削 土砂 水中掘削					SPK21040001 00
	30	m3			単第0 -0002 表
掘削 土砂 現場制約あり					SPK21040001 00
	10	m3			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し	30	m3			Y1E01010102レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK21040019 00 単第0 -0004 表
残土処理工	1	式			Y1E010110 レベル3
土砂等運搬 土砂	60	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)	60	m3			SPK21040002 00 単第0 -0005 表
残土等処分	60	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
受入費 土砂	60	m3			F0000000001 00
耐震性貯水槽据付工	1	式			Y1E0102 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本体据付工	1	式			Y1E010201 レベル3
底版工	1	式			Y1E01020101レベル4
底版工	1	式			V0000000002 00
側版工	1	式			単第0 -0006 表 Y1E01020101レベル4
側版工	1	式			V0000000001 00
頂版工	1	式			単第0 -0011 表 Y1E01020101レベル4
頂版工	1	式			V0000000007 00
人孔・ピット工	1	式			単第0 -0014 表 Y1E01020101レベル4
人孔工及びピット工	1	式			V0000000010 00
	1	式			単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現地塗装工	1	式			Y1E010201 レベル3
内面塗装工	1	式			Y1E01020101レベル4
内面塗装工	21	m2			V0000000011 00 単第0 -0019 表
外面塗装工	1	式			Y1E01020101レベル4
外面塗装工	9	m2			V0000000012 00 単第0 -0020 表
工場製作工	1	式			Y1E0301 レベル2
耐震性貯水槽製作工	1	式			Y1E030101 レベル3
耐震性貯水槽製作加工	1	式			Y1E03010101レベル4
【工場製作に含まれる材料費等】					#0045

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震性貯水槽製品費 4200φ×4300φ×3740H SUS梯子付	1	式			F0000000005 00
標識工	1	式			Y1E0104 レベル2
小型標識工	1	式			Y1E010401 レベル3
標識柱	1	式			Y1E01040101レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 静電粉体塗装(白色) 柱径φ60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 00 単第0 -0021 表
標識板	1	基			Y1E01040101レベル4
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1	基			SS000223 00 単第0 -0022 表
直接工事費（鋼橋製作工） #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
間接労務費（鋼橋製作工） 計算情報…… 率……					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工場管理費（鋼橋製作工） 計算情報…… 率……………					
＊＊間接工事費（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊工場製作原価（鋼橋製作工）＊＊					
＊＊直接工事費(工場製作を除く)＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
貯水槽運搬費	1	式			YZZ04001004レベル4
輸送費	1	式			F0000000006 00

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
簡易支持力測定	1	式			YZZ06001006 レベル4
簡易支持力測定 報告書作成含む	1	式			F0000000008 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
共通仮設費計					
純工事費					

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
架設工事原価					
工事原価					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額……… 率………					
工事費計					

本工事費 内訳表

頁0 -0010

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 30.15% 労務構成比: 標準 58.62% 材料構成比: 11.23% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0001 表 1 m3 当り 1,114.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	30.15%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	58.62%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.23%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

掘削
土砂 水中掘削
機械構成比: 58.20% 労務構成比: 26.06% 材料構成比: 15.74% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0002 表

1
標準単価: 357.48000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m3	58.20%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧ロープ式・クローラ型 平積0.8m3		MTPC00065 MTPT00065
運転手(特殊)	26.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 水中掘削		

施工単価表

頁0 -0013

掘削

SPK21040001

單第0 -0003 表

土砂 現場制約あり

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

5,590.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

埋戻し		SPK21040019		単第0 -0004 表		1		m3 当り	
土砂		上記以外(小規模)		市場単価構成比: 0.00%		標準単価:		3,520.00000	
機械構成比: 10.59%		労務構成比: 85.50%		材料構成比: 3.91%					
代表機材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		9.94%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3			MTPC00083 MTPT00083		
タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		0.65%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg			MTPC00048 MTPT00048		
普通作業員		48.90%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
特殊作業員		19.42%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
運転手(特殊)		17.18%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006		
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		3.29%		軽油1.2号パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.62%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014		
積算単価				積算単価			EP001		
A=5 D=1		上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂					

施工単価表

頁0 -0015

埋戻し
土砂

SPK21040019

單第0 -0004 表

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 10.59%

勞務構成比:

85.50%

材料構成比: 3.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

3,520.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

土砂等運搬

SPK21040002

単第0 -0005 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.95% 労務構成比:

61.91%

材料構成比: 12.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,922.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.91%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.14%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=46 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0017

底版工

V0000000002

單第0 -0006 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

基礎碎石		SPK21040033		単第0 -0007 表	
碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下		RC-40		1	
機械構成比: 5.40%		労務構成比: 67.01%		標準単価: 1,245.60000	
材料構成比: 27.59%		市場単価構成比: 0.00%		m2 当り	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音		5.37%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)	KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)				その他(機械)	EK009
普通作業員		32.33%		普通作業員	RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		14.02%		特殊作業員	RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)		12.53%		運転手(特殊)	RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役		7.67%		土木一般世話役	RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)	ER009
再生クラッシャーラン 40～0mm		23.12%		再生クラッシャーラン RC-40	TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		4.44%		軽油1.2号パトロール給油	TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0019

基礎碎石

SPK21040033

單第0 -0007 表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

機械構成比: 5.40% 勞務構成比:

67.01%

材料構成比: 27.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

m2 当り
1,245.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート

SPK21040140

単第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.53%

労務構成比:

37.78%

材料構成比:

57.69%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,266.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.28%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.69%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0021

コンクリート

SPK21040140

單第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.53% **勞務構成比:**

37.78% 材料構成比: 57.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

28,266.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

底版組立工

V0000000005

單第0 -0009 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

底版溶接工

V0000000006

單第0 -0010 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

側版工

V0000000001

單第0 -0011 表

1 式 当り

備考

单第0-0012 表

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

側版組立工

V0000000003

單第0 -0012 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

側版溶接工

V0000000004

單第0 -0013 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

頂版工

V0000000007

單第0 -0014 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

頂版組立工

V0000000008

單第0 -0015 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頂版溶接工

V0000000009

單第0 -0016 表

頁0 -0029

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

人孔工及びピット工

V0000000010

単第0 -0017 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.15	m3			単第0-0008 表
人孔鉄蓋 FC～FCD	1	式			
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック据付工	1	組			単第0-0018 表
シーリング工	2	m			
普通作業員	1	人			
溶接工	0.1	人			
<賃>溶接機械(エンジンウェルダ) 270A	1	日			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0031

蓋(受枠とも)及び調整Coブロック据付工

SG1D0044004

單第0 -0018 表

1

組 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

内面塗装工

V0000000011

單第0 -0019 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

外面塗装工

V0000000012

單第0 -0020 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式]

SS000067

單第0 -0021 表

单柱式 静电粉体涂装(白色)

柱徑 $\phi 60.5$ [規]2基以下

1

基 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0035

標識板設置

SS000223

單第0 -0022 表

警戒・規制・指示・路線番号標識

[規]2基以下

1

基 当り

[illegible]

数 量 総 括 表

－耐震性貯水槽新設工事（幸崎能地五丁目）－

設計数量総括内訳書

工種 レベル2	種別 レベル	細別 レベル4	積算要素	規 格	単位	数 量	摘 要
耐震性貯水槽土工							
	作業土工						
		表土掘削			m ³	40	
			機械掘削		m ³	40	
		沈下掘削			m ³	40	
			機械掘削		m ³	30	
			人力掘削		m ³	10	
		埋戻し			m ³	30	
			埋戻し		m ³	30	
		残土処理工			m ³	60	
			土砂等運搬		m ³	60	
			残土受入費		m ³	60	
耐震性貯水槽据付工							
	本体据付工						
		底板工			式	1	
		側版工			式	1	
		頂版工			式	1	
		人孔及びピット工			式	1	
	現地塗装工						
		内面塗装工			m ²	21	
			内面塗装工		m ²	21	
		外面塗装工			m ²	9	
			外面塗装工		m ²	9	

工場製作工						
	耐震性貯水槽製作工					
	耐震性貯水槽製作加工 日本消防設備安全センター認定品 容量 40m ³		式	1		
	耐震性貯水槽 40m ³ II 型	鋼製縦円筒型 SUS梯子付	式	1		
標識工						
	小型標識工					
	標識柱 φ 60.5 L=3500		基	1		
	標識柱・基礎設置		基	1		
	標識板 φ 600 アルミ板		基	1		
	標識板設置	φ 600	基	1		
技術管理費						
	簡易支持力測定		式	1		

製品費 1.0式当り

数量表

第 1 号表

名称	品種	形状・寸法・員数	単位	数量			摘要
側 版	4分割上部セグメント		基	4.0			
〃	4分割下部セグメント		基	4.0			
頂 版	吸管投入孔付き		基	1.0			
〃			基	1.0			
底 版	集水ピット付き		基	1.0			
〃			基	1.0			
栗石止め			ヶ	1.0			
ピット用塞ぎ板	上 蓋		枚	1.0			
〃	下 蓋		枚	1.0			
ピット用パッキン	生ゴム	570φ × t5	枚	1.0			
組立用ボルト・ナット	亜鉛メッキ	M20 × 45 L	組	44.0			
組立用ボルト・ナット	亜鉛メッキ	M20 × 40 L	組	18.0			
電気防蝕用陽極棒	マグネシウム	MAGNAP M-56R200	本	6.0			
SUS 梯子			本	1.0			オプション
合 計							

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

土工 1.0式当り

数量表

第 2 号表

名称	品種	形状・寸法・員数	単位	数量	単価	金額	摘要
表土掘削	バックホウ	0.35M ³ 礫交り粘性土	M ³	39.6			
沈下掘削	グラムシェル	0.60M ³ 礫交り粘性土	M ³	31.6			
〃	人力掘削	普通作業員	M ³	11.1			
埋め戻し工	バックホウ	0.35M ³ 在来土使用	M ³	25.6			
埋め締固め工	タンバ	60kg～100kg t=30cm巻き出し	M ³	25.6			
残土処分	自由処分	道幅2.8m以上	M ³	56.8			

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

側 版 工 1.0式当り

数 量 表

第 3 号表

名称	品種	形状・寸法・員数	単位	数量	単価	金額	摘要
組 立 工	ラフテレーンクレーン	10t 吊り	日	1.0			
	と び 工		人	4.0			
	普 通 作 業 員		人	2.0			
溶 接 工	溶 接 工		人	9.5			132.4m/14m=9.5
	〃 発 電 機	125KVA 防音型	日	2.0			

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

底 版 工 1.0式当り

数 量 表

第 5 号表

名称	品種	形状・寸法・員数	単位	数量	単価	金額	摘要
栗 石 工		敷き均し・目潰し共	m ³	2.5			
生コンクリート	18-8-40BB	無筋構造物	m ³	6.08			
組 立 工	ラフテレーンクレーン	10t 吊り	日	0.5			
	と び 工		人	2.0			
	普 通 作 業 員		人	2.0			
溶 接 工	溶 接 工		人	0.8			11.4m/14m=0.8
	〃 発電機	125KVA 防音型	日	1.0			

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

頂 版 工 1.0式当り

数 量 表

第 4 号表

名 称	品 種	形状・寸法・員数	単位	数量	単価	金額	摘要
生コンクリート	18-8-40BB	無筋構造物	M³	3.78			
組 立 工	ラフテレーンクレーン	10t 吊り	日	1.0			
	と び 工		人	2.0			
	普 通 作 業 員		人	1.0			
溶 接 工	溶 接 工		人	1.3			17.7m/14m=1.3
	〃 発 電 機	125KVA 防音型	日	1.0			
コーキング工	硬質シリコン樹脂系	3.84 × π + 3.84	m	15.9			

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

人孔工及びピット工 1.0式当り
(1穴当り)

数 量 表

第 6 号表

名 称	品 種	形状・寸法・員数	単位	数量	単価	金額	摘要
人 孔 工	生コンクリート	18-8-40BB 無筋構造	M³	0.15			
	人 孔 鉄 蓋	受枠共 FC～FCD	式	1.0			
	〃 設置手間	100 ～ 170kg／枚	枚	1.0			
	コーキング工	硬質シリコン樹脂系	m	2.0			
ピ ッ ト 工	下蓋釜閉め工	普 通 作 業 員	人	1.0			
	上蓋溶接工		人	0.1			1.3m/14m=0.1
	〃 エンジンウェルター	270A	日	1.0			

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

内面塗装工 100.0m²当り

数量表

单第 1 号表

[illegible]

外面塗装工 100.0㎡当り

数 量 表

単第 2 号表

名称	品 種	形状・寸法・員数	単位	数量	単価	金額	摘要
塗 装 前 処 理 工	橋梁塗装工		人	1.3			
〃 諸 雑 費		7%	式	1.0			
塗 料	ハイソリッド変成エポキシ系 グレー		kg	75.0			
塗 装 工	橋梁塗装工		人	3.8			
〃 諸 雑 費		3%	式	1.0			塗料+塗装工
計							

KS40H 1穴12分割 土被0.5m
耐震性貯水槽製品明細

No.	品 名	単 量	数 量	重 量	備 考
1	上部セグメント	843.5 kg	4 基	3374.0 kg	
2	下部セグメント	404.6 kg	4 基	1618.4 kg	
3	頂版 (吸管筒付)	989.9 kg	1 基	989.9 kg	
4	頂版	787.4 kg	1 基	787.4 kg	
5	底版 (ピット付)	705.1 kg	1 基	705.1 kg	
6	底版	593.2 kg	1 基	593.2 kg	
7	底版用塞ぎ板	0.2 kg	1 枚	0.2 kg	
8	ピット用塞ぎ板	26.8 kg	1 枚	26.8 kg	下蓋
9	ピット用塞ぎ板	15.3 kg	1 枚	15.3 kg	上蓋
10	ピット用パッキン		1 枚		570 φ × 5t
11	M20×45L ボルト・ナット	0.29 kg	44 組	12.8 kg	亜鉛メッキ
12	M20×40L ボルト・ナット	0.29 kg	18 組	5.2 kg	亜鉛メッキ
13	電気防蝕用 マグネシウム陽極棒	7.7 kg	6 本	46.2 kg	MAGNAP M-56R200
14	栗石止め	16.7 kg	1 個	16.7 kg	
15	SUS梯子	31.4 kg	1 本	31.4 kg	オプション
総 重 量				8222.6 kg	
注). タッチアップ用塗料及びマンホール用鉄蓋は現地工事に含まれます。					

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

土工数量計算書

1. 表土掘削 $((5.0 \div 2)(5.0 \div 2)\pi + (6.5 \div 2)(6.5 \div 2)\pi \div 2) \times 1.5$	39.61 M ³
2. 沈下掘削 イ) 機械掘削 $((4.3 \div 2) - 0.3)((4.3 \div 2) - 0.3) \times \pi \times 2.94$ ロ) 人力掘削 $((4.3 \div 2)(4.3 \div 2)\pi \times 2.94 - 31.61$	31.61 M ³ 11.08 M ³
3. 埋戻し ・上部セグメント $(4.2 \div 2)(4.2 \div 2)\pi \times 0.70$ ・上床版 $(4.14 \div 2)(4.14 \div 2)\pi \times 0.30$ ・マンホール $(0.90 \div 2)(0.90 \div 2)\pi \times 0.5 \times 1$ $39.61 - (9.70 + 4.04 + 0.32)$	9.7 M ³ 4.04 M ³ 0.32 M ³ 25.55 M ³
4. 残土処分 (イ)埋戻し発生土使用の場合 $39.61 + 31.61 + 11.08 - 25.55$ (ロ)埋め戻し購入土使用の場合 $39.61 + 31.61 + 11.08$	56.75 M ³ 82.30 M ³
5. 転圧(t=30cm/層)	25.55 M ³

KS40H 1穴12分割 土被0.5m

栗石・コンクリート及びモルタル使用量 計 算 式

1) 栗 石 $(4.1 \div 2)(4.1 \div 2) \times \pi \times 0.2 - (0.8 \div 2)(0.8 \div 2) \times 1 \pi \times 0.2$	2.54 M ³
2) 第1回コンクリート（底版） $(4.3 \div 2)(4.3 \div 2) \times \pi \times 0.12 - (0.8 \div 2)(0.8 \div 2) \times 1 \pi \times 0.12$	1.68 M ³
3) 第2回コンクリート（底版） $(4.3 \div 2)(4.3 \div 2) \times \pi \times 0.31 - (0.66 \div 2)(0.66 \div 2) \times 1 \pi \times 0.31$	4.40 M ³
4) 第3回コンクリート（頂版） $(4.10 \div 2)(4.10 \div 2) \times \pi \times 0.293 - (0.66 \div 2)(0.66 \div 2) \times 1 \pi \times 0.293$	3.78 M ³
5) 第4回コンクリート（マンホール） 1穴当り $(0.90 \div 2)(0.90 \div 2) \times \pi \times 0.5 - (0.66 \div 2)(0.66 \div 2) \times 1 \pi \times 0.5$	0.15 M ³

現地溶接の図面溶接長

1/3

《A》

1) 下向水平隅肉

1. 本体関係	(イ)上・下部セグメント	接合円周部(外)	$4.2 \times \pi$	=	13.2 m
	(ロ) "	" (内)	$4.2 \times \pi$	=	13.2 m
	(ハ) "	縦リブ	$0.1 \times 2 \times 12$ ヶ所=		2.4 m
	(ニ) "	縦手板	$0.18 \times 2 \times 4$ ヶ所=		1.4 m

2. 下床版関係(イ)外 周	$3.8 \times \pi$	=	11.9 m
(ロ)中 心	3.8×1	=	3.8 m
(ハ)塞ぎ板	$(0.05 + 0.075) \times 2$	=	0.3 m

3. 上床版関係(イ)外 周	$4.17 \times \pi$	=	13.1 m
(ロ)ボルト	$1.5 \text{ cm} \times 6 \times 18$	=	$162 \text{ cm} = 1.6 \text{ m}$

4. 集水ピット上蓋	$0.647 \times \pi$	=	2.0 m
------------	--------------------	---	-------

2) 下 向

1. 本体関係	(イ)上部セグメント 頂版接合部	0.18×4	=	0.7 m
	(ロ)下部セグメント "	0.24×4	=	1.0 m
	(ハ)下部セグメント リブ接合部	0.04×4	=	0.2 m

2. 上床版 中心線	$4110 \text{ mm} - 3.2 \text{ mm} \times 2$	=	$4104 \text{ mm} = 4.1 \text{ m}$
------------	---	---	-----------------------------------

3) 立 向

1. 本体関係	(イ)セグメント 接合線 (外)	$(2.64 + 0.8) \times 4$	=	13.8 m
	(ロ) " " (内)	$(2.64 + 0.8) \times 4$	=	13.8 m
	(ハ)電気陽極棒	$(5 \text{ cm} + 5 \text{ cm} + 1 \text{ cm}) \times 2$	=	$132 \text{ cm} = 1.3 \text{ m}$

3. 上床版コーミング	$(30 \text{ cm} + 6 \text{ cm}) \times 2$	=	$72 \text{ cm} = 0.7 \text{ m}$
-------------	---	---	---------------------------------

4) 上 向

1. 本体関係	(イ)下部セグメント 底部横リブ接合部	0.1×4.0	=	0.4 m
---------	---------------------	------------------	---	-------

現地溶接の換算溶接長

2/3

《B》

			〔図面溶接長〕	〔換算値〕	〔換算溶接長〕
1) 下向水平隅肉					
1. 本体関係	(イ)上・下部セグメント	接合円周部(外)	13.2	0.88	11.6
	(ロ) "	" (内)	13.2	0.88	11.6
	(ハ) "	縦リブ	2.4	0.88	2.1
	(ニ) "	縦手板	1.4	1.28	1.8
2. 下床版関係	(イ)外 周		11.9	0.64	7.6
	(ロ)中 心		3.8	0.96	3.6
	(ニ)塞ぎ板		0.3	0.64	0.2
3. 上床版関係	(イ)外 周		13.1	0.64	8.4
	(ロ)ボルト		1.6	0.64	1.0
4. 集水ピット上蓋			2.0	0.64	1.3
2) 下 向					
1. 本体関係	(イ)上部セグメント	頂版接合部	0.7	1.6	1.1
	(ロ)下部セグメント	"	1.0	1.6	1.6
	(ハ)下部セグメント	リブ接合部	0.2	1.6	0.3
2. 上床版	中心線		4.1	1.6	6.6
3) 立 向					
1. 本体関係	(イ)セグメント	接合線 (外)	13.8	4.8	66.2
	(ロ) "	" (内)	13.8	2.4	33.1
	(ハ)電気陽極棒		1.3	1.28	1.7
3. 上床版コーミング			0.7	2.4	1.7
4) 上 向					
1. 本体関係	(イ)下部セグメント	底部横リブ接合部	0.4	3.2	1.3

現地溶接の集計溶接長

3/3

《C》

1) 図面指示溶接長

	水平隅肉	下 向	立 向	上 向	計
本 体	30.2	1.9	28.9	0.4	61.4
下 床 版	16.0				16.0
上 床 版	14.7	4.1	0.7		19.5
集水ピット	2.0				2.0
計	62.9	6.0	29.6	0.4	98.9

2) 換算溶接長

	水平隅肉	下 向	立 向	上 向	計
本 体	27.1	3.0	101.0	1.3	132.4
下 床 版	11.4				11.4
上 床 版	9.4	6.6	1.7		17.7
集水ピット	1.3				1.3
計	49.2	9.6	102.7	1.3	162.8

40M³ 耐震性貯水槽
現地塗装面積計算書

1/2

1). 内面補修塗装(エポキシ樹脂系)

1. セグメント高さ (イ) 継手溶接部 $3.440 \times 4 = 13.8 \text{ m}$

(ロ) 外板溶接部裏面高さ $3.44 \times 2 \times 4 \text{ヶ所} = 27.5 \text{ m}$

2. 上・下部セグメント接合円周部 (イ) 溶接線部 $4.20 \times \pi = 13.2 \text{ m}$

(ロ) 下部セグメント頂版裏面 $4.20 \times \pi = 13.2 \text{ m}$

3. 上床版関係 (イ) 上部セグメント頂版裏面 $4.17 \times \pi = 13.1 \text{ m}$

(ロ) 中央センター部 $4.17 - 0.205 \times 2 = 3.8 \text{ m}$

(ハ) 内部円周部 $3.8 \times \pi = 11.9 \text{ m}$

4. 縦リブ関係 (イ) 溶接部 $0.1 \times 2 \times 12 \text{ヶ所} = 2.4 \text{ m}$

(ロ) 下部セグメント頂版裏面 $0.1 \times 2 \times 12 \text{ヶ所} = 2.4 \text{ m}$

5. 継手板関係 (イ) 溶接部 $0.18 \times 2 \times 4 \text{ヶ所} = 1.4 \text{ m}$

(ロ) 下部セグメント頂版裏面 $0.18 \times 2 \times 4 \text{ヶ所} = 1.4 \text{ m}$

小計) 104.1 m

依って内面補修面積は、 $104.1 \times 0.2 = 20.8 \text{ m}^2$
(片側 10cm巾)

6. 電気防食陽極棒 溶接部 $0.04 \times 2 \times 6 = 0.5 \text{ m}^2$
(20cm角)

内面合計	21.3 m ²
------	---------------------

2). 外面補修塗装(エポキシ樹脂系)

$$1. \text{ セグメント高さ} \quad (2.64 + 0.8) \times 4 \text{ヶ所} = 13.8 \text{ m}$$

$$2. \text{ 上・下部セグメント接合円周部} \quad 4.20 \times \pi = 13.2 \text{ m}$$

$$3. \text{ 上床版関係} \quad (\text{イ}) \text{ 溶接線部} \quad 4.17 \times \pi = 13.1 \text{ m}$$

$$(\text{ロ}) \text{ 外枠溶接部} \quad 0.30 \times 2 = 0.6 \text{ m}$$

$$\text{小計)} \quad \underline{40.7 \text{ m}}$$

$$\text{依って外面補修面積は、} \quad 40.7 \times 0.2 = 8.1 \text{ m}^2$$

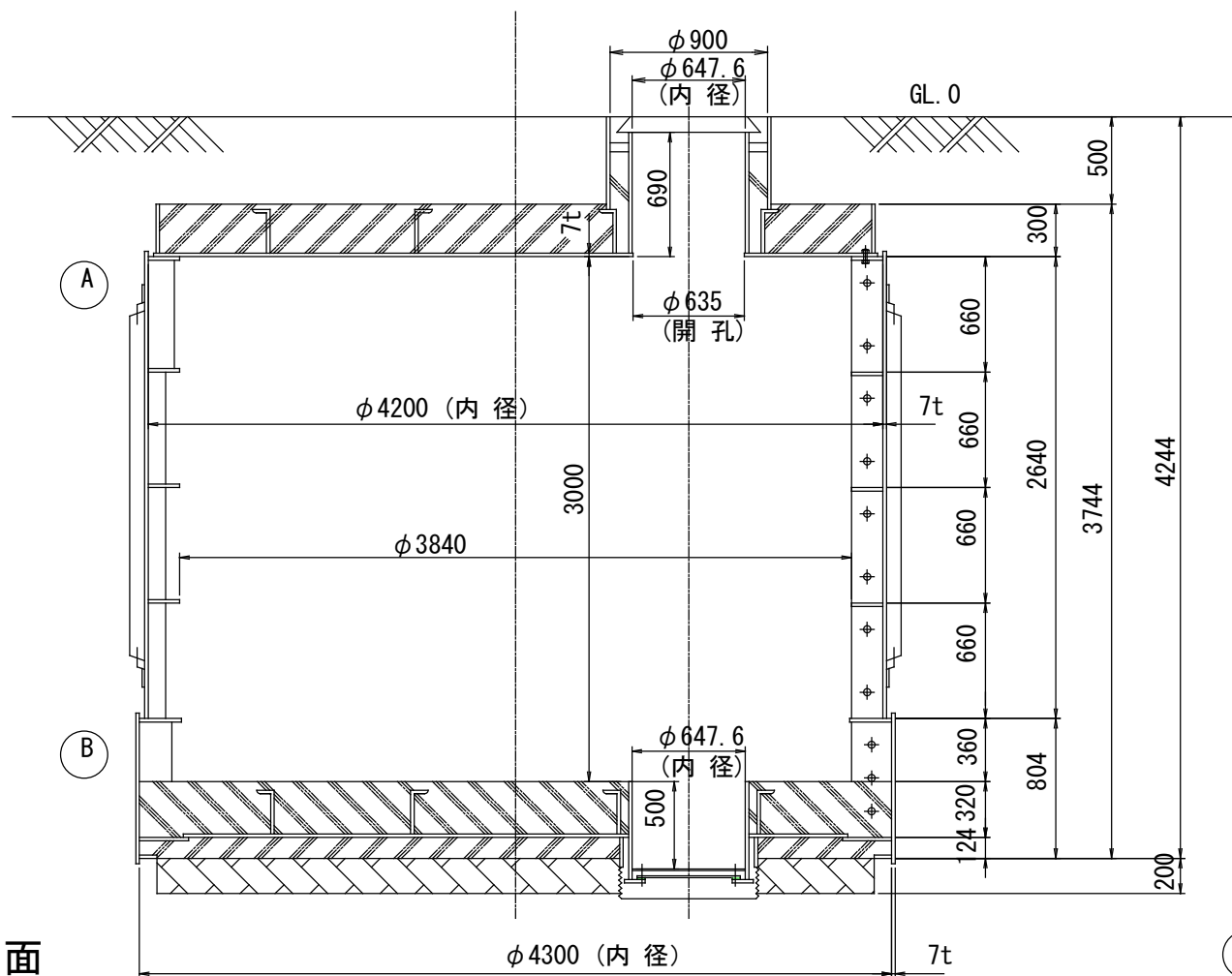
$$4. \text{ 電気防食陽極棒} \quad \text{溶接部} \quad 0.04 \times 2 \times 6 = 0.5 \text{ m}^2$$

外面合計	8.6 m ²
------	--------------------

参 考 図

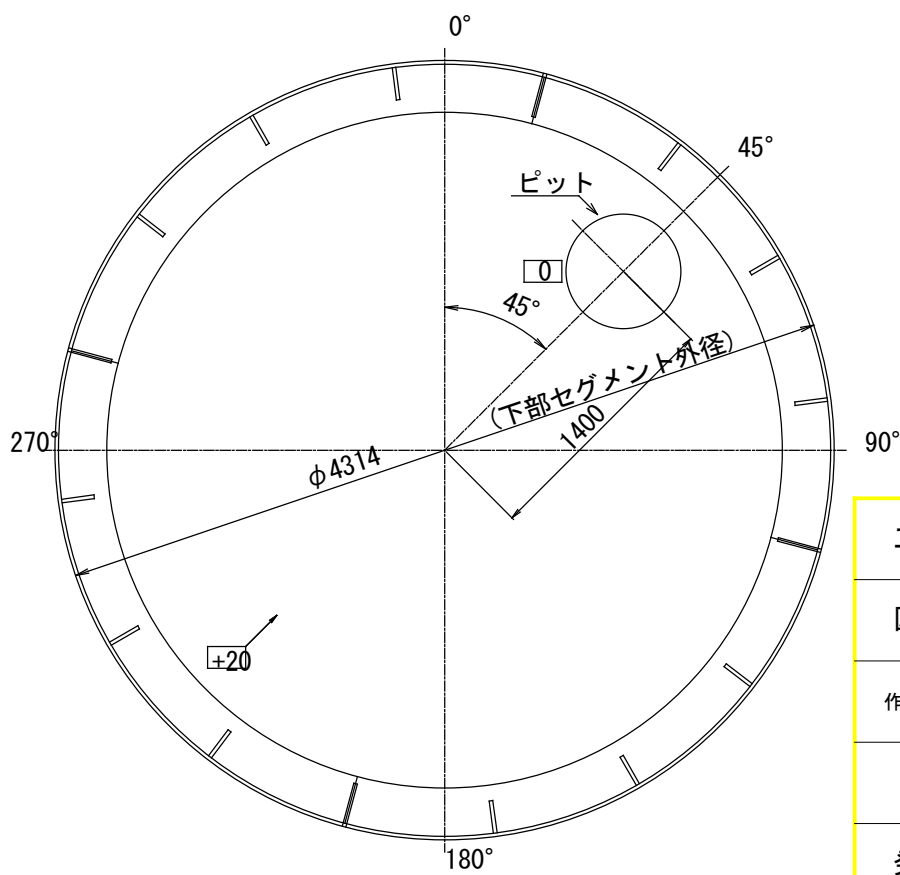
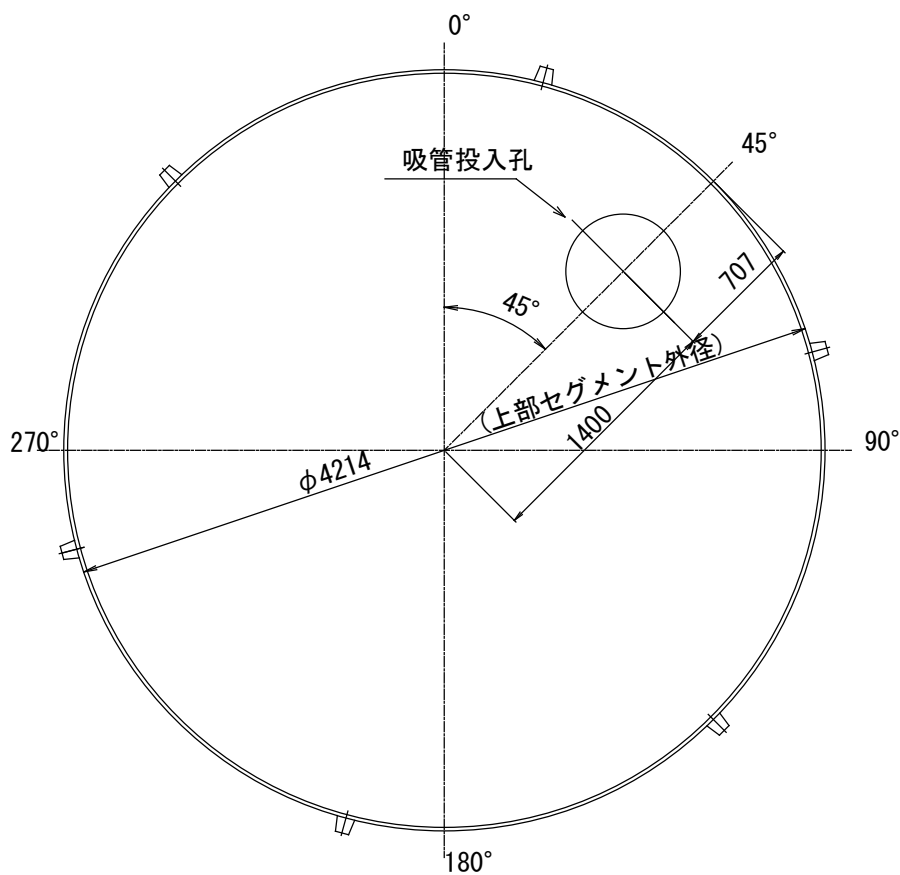
—耐震性貯水槽新設工事（幸崎能地五丁目）—

断面図



A断面

B断面



容 積 表

項 目	サイズ (内径 x 高さ)	容積 (m ³)
上部セグメント	$\phi 4200 \times 2640$	36.57
下部セグメント	$\phi 4300 \times 360$	5.23
内 部 部 材		△ 0.23
容積総合計		41.57m ³

仕 上 表

名 称	材 質	厚
内 部 塗 装	変性エポキシ樹脂系 (ライトグレー)	250 μ
外 部 塗 装	変性エポキシ樹脂系 (ライトグレー)	250 μ
内部取合部	コーキング (硬質シリコン樹脂系)	

工事名	耐震性貯水槽新設工事 (幸崎能地五丁目)		
図面名	参考図		
作成年月日	令和3年8月		
縮尺	図示	図面番号	
発注者	三原市		

